

令和5年度～令和7年度

県立高校等再編整備計画

— 生徒一人一人の夢を叶える特色ある学校づくりの推進 —



令和4年7月

新潟県教育委員会



## はじめに

人口減少や社会の急激な変化が進む中、本県では生徒一人一人の能力を最大限に伸ばす教育環境の整備や、将来の新潟を担う人づくりが求められていることから、平成28年3月に、今後の学校・学科のあり方についての中長期的なビジョンである「県立高校の将来構想」を策定しました。

また、新しい高等学校学習指導要領では、複雑で予測困難な時代の中でも、生徒一人一人が社会の変化に主体的に向き合っており、多様な他者と協働しながら問題を発見し、解決していくために必要な力を育てていくことを重視しており、そのための教育環境を整えることがより一層重要となっています。

県教育委員会では、文部科学省事業「COREハイスクール・ネットワーク構想」に採択されたことを受け、「新潟の未来をS a G a S uプロジェクト」に取り組んでいるところであり、離島・中山間地域の教育環境の充実を図ることを目的として、遠隔教育の実証研究を行っています。この研究の成果も踏まえながら、今後の県立高校のあり方について、検討を進めることとしております。

今回お示しする県立高校等再編整備計画は、「県立高校の将来構想」に基づいて、中学1年生が高校入学時の学校・学科のおおよその姿が分かるように、向こう3か年分について公表するものです。

本計画の策定にあたっては、小中学校の在籍生徒数や各高校の志願状況、中学生の進路希望等に加え、教育に対する社会のニーズや県の課題にも留意しました。

なお、本計画における令和5年度から令和7年度の募集学級数の見込みは、現時点でのデータに基づく見通しをお示ししたものであり、令和5年度の募集学級数ならびに募集定員については、今後、最新の学校基本調査の結果等も踏まえ、本年10月の教育委員会の議決により、決定されます。

県立高校等の再編整備は、保護者をはじめとする県民の皆様の御理解・御協力が不可欠でありますので、現在の高校等の教育を取り巻く現状や本県の課題等を御理解いただき、一層の御協力を賜りますようお願いいたします。

令和4年7月22日

新潟県教育委員会教育長

佐野 哲郎

## 再編整備計画（令和5年度～令和7年度）

### 1 基本的な考え方

「県立高校の将来構想」に基づき、魅力と活力ある学校づくりを推進する

- (1) 「県立高校の将来構想」の「3つの基本方針」を踏まえた魅力ある学校づくりを目指し、本県独自の新たな「5つのタイプの高校」を順次設置していく。

#### 【3つの基本方針】

- ◇ 様々な分野で活躍できるグローバル人材を育成する教育の推進
- ◇ 県外の生徒も学びたくなる魅力的な学校づくりの推進
- ◇ 地域との連携を深化させた人づくりの推進

#### 【高校の5つのタイプ】

- ◇ 専門分野を探究する高校
- ◇ 学科総合型の産業高校
- ◇ 大学進学を重視した学究型の高校
- ◇ 総合選択制の高校
- ◇ 柔軟な学びを可能とする高校

- (2) 県内を6つのエリアに分け、そのエリアごとの中学校卒業生数及び他エリアとの生徒の流出入状況等を勘案しながら、募集学級数の見込みを検討する。
- (3) 1学級あたりの生徒数を40人とし、1学年あたり4～8学級を望ましい学校規模として教育の質的な向上と学校の活性化を図ることを基本とする。

#### 【1学年あたり4～8学級のメリット】

- ◇ 多様な人間関係の中で切磋琢磨する機会が増えること
- ◇ 各教科で一定の教員数を確保できるため、一人一人の興味・関心や進路希望に応じて選択できる科目が増えるとともに、新しい高等学校学習指導要領で重視されている教科等横断的な学習がより一層充実すること
- ◇ 多様な部活動の設置や部員数の確保が可能となり、部活動が充実すること

- (4) 小規模校においては各学校における教育の特色化について、市町村や地元企業からの協働の提案等も踏まえて学校が取組を進め、その取組状況や、志願状況、入学状況、卒業生の進路状況进行评估しながら、地域の交通事情や地元生徒の入学状況など地域の特性も踏まえて、小規模校のあり方の検討を進める。なお、「新潟の未来をS a G a S uプロジェクト」をとおして、遠隔教育や地域協働などによる、小規模校の教育環境の整備について研究を進める。
- (5) 生徒の多様な教育的ニーズに的確に応じるため、定時制課程や通信制課程をもつ高校のあり方について調査・研究を進める。

(6) 中等教育学校については、令和3年3月に提出された「県立中等教育学校あり方検討委員会」の報告書の提言に基づき、それぞれの学校が、より一層の学習面の充実や、グローバル教育、地域探究活動の推進など、地域における役割や生徒のニーズを踏まえた特色化・魅力化に取り組むこととしており、県教育委員会は、令和3年度～令和4年度の間、中高一貫教育の将来的なあり方について、地元自治体との意見交換を継続して行い、令和5年度にそれぞれの中等教育学校の特色化の状況や志願状況等について検証した上で、そのあり方を検討する。

## 【県立中等教育学校あり方検討委員会の提言】

### 〔総括〕

県教育委員会は、本県中等教育において、生徒にとってより良い教育環境の整備に引き続き取り組むべきである。

県立中等教育学校は、6年間を見通した計画的・継続的な教育活動により、大学進学等において顕著な実績をあげるとともに、地域の小中学校、高等学校に刺激を与え、本県中等教育活性化の役割を果たしてきたと評価できる。また、地域コミュニティにおける重要な役割を担っていることも踏まえ、当面は、存続の可能性を模索する必要がある。このために、県立中等教育学校は、志願者数増加に向けた一層の特色化・魅力化に取り組むべきである。

一方で、人口規模や交通事情、エリアにおける高等学校の配置など、地域によって状況が異なることから、令和5年度に、それぞれの中等教育学校の特色化の状況や志願状況等を検証することとし、中高一貫教育の実施形態の転換など、地域の状況に応じた将来的な対応について検討すべきである。

地域の高等学校や中高一貫教育の将来的なあり方については、県教育委員会と地元自治体との間でビジョンを共有する必要があることから、地元自治体との意見交換を継続して行うべきである。

### 〔提言〕

#### 1 志願者数増加に向けた県立中等教育学校の特色化・魅力化

県立中等教育学校においては、当面は、存続の可能性を模索し、志願者数増加に向けた一層の特色化・魅力化に取り組むべきである。

特色化にあたっては、すべての中等教育学校で同様の取組を進める必要はなく、それぞれの地域における中等教育学校の役割や生徒のニーズなどを踏まえた特色化を進めることが適当である。

#### 2 中高一貫教育の将来的なあり方

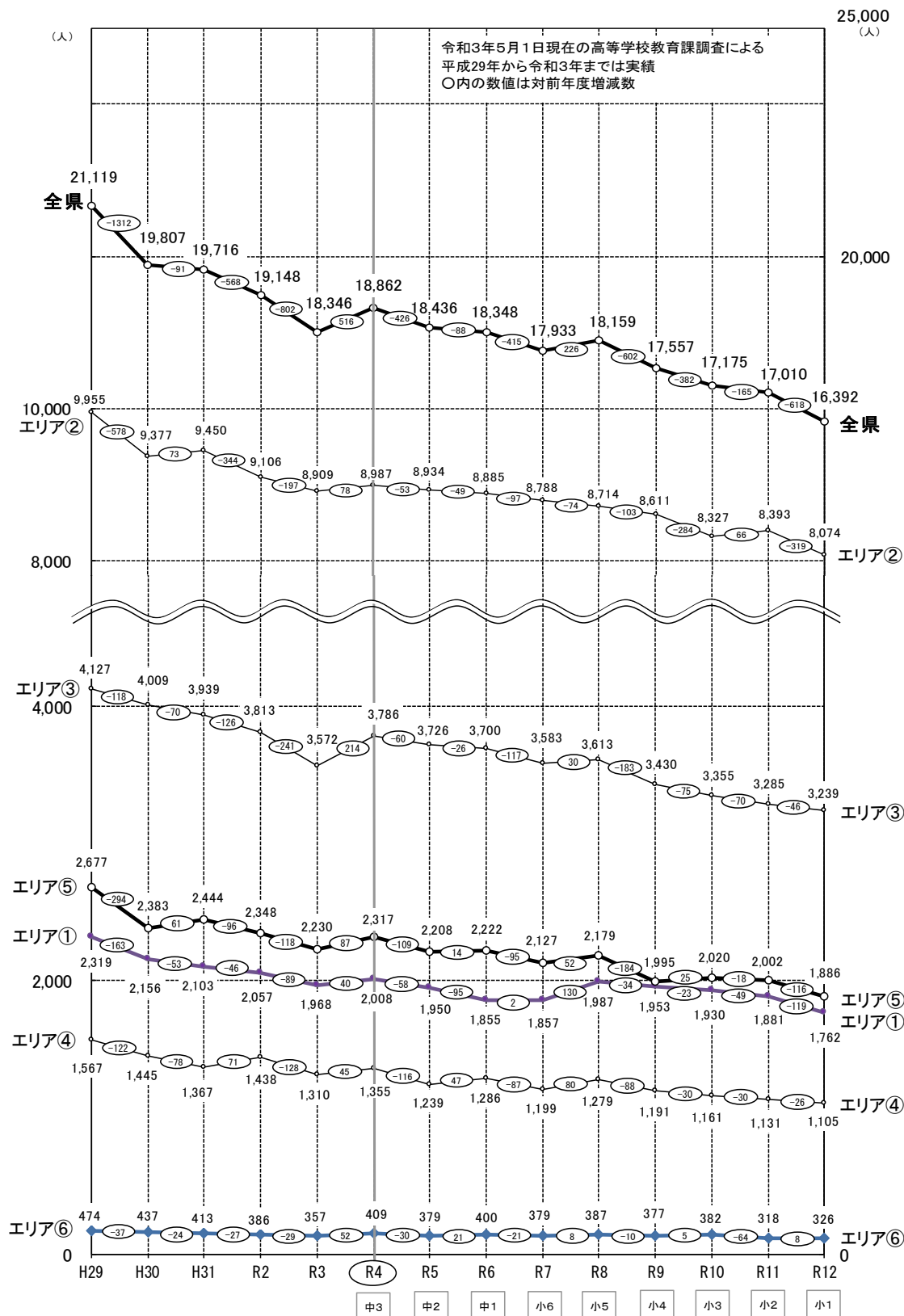
当面は、県立中等教育学校の存続を模索すべきであるが、地元自治体と意見交換を行った上で、地域の状況によっては、中高一貫教育の実施形態の転換など、中高一貫教育の将来的なあり方について検討すべきである。

#### 3 地元自治体との関係

地方創生を進める上で、学校と地域の連携・協働の必要性が指摘されていることから、県立中等教育学校の志願者数増加に向けた取組については、地元自治体からの支援も重要である。

また、県教育委員会は、令和3年度～令和4年度の間、中高一貫教育の将来的なあり方について、地元自治体との意見交換を継続して行い、令和5年度にそれぞれの中等教育学校の特色化の状況や志願状況等について検証した上で、そのあり方を検討することが適当である。

## 2 エリア別中卒者推計



### 市町村一覧

エリア名	市町村名
エリア①	新発田市、村上市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、関川村、粟島浦村
エリア②	新潟市、三条市、加茂市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町、阿賀町
エリア③	長岡市、柏崎市、小千谷市、見附市、出雲崎町、刈羽村
エリア④	十日町市、魚沼市、南魚沼市、湯沢町、津南町
エリア⑤	糸魚川市、妙高市、上越市
エリア⑥	佐渡市

### 3 計画内容

#### (1) 県立高校等の募集学級数等

- ※ 各年度の中学校卒業生数は、令和3年5月1日現在の学校基本調査による推計値である。
- ※ 学級数及び学校数は中等教育学校後期課程を含む合計数である。また、分校も1校として算入している。

		R4	R5	R6	R7
全県	中学校卒業生数	18,862	18,436	18,348	17,933
	前年差	516	-426	-88	-415
		R4	R5	R6	R7
		募集学級数	募集学級数の見込み		
	全日制学級数	333	320	317	309
	全日制増減	7	-13	-3	-8
	定時制学級数	15	15	15	15
	定時制増減	0	0	0	0
	全定学級数	348	335	332	324
	増減	7	-13	-3	-8
	全日制学校数	80	79	78	78
	学校数増減	-1	-1	-1	0
	定時制学校数	9	9	9	9
	学校数増減	0	0	0	0

<参考> 新潟市立学校及び私立学校（全日制）の募集学級数等

[新潟市立学校]

		R4	R5	R6	R7
		募集学級数	募集学級数の見込み		
	全日制学級数	9	9	9	9
	増減	0	0	0	0
	定時制学級数	4	4	4	4
	増減	0	0	0	0
	全定募集学級数	13	13	13	13
	増減	0	0	0	0
	全日制学校数	2	2	2	2
	増減	0	0	0	0
	定時制学校数	1	1	1	1
	増減	0	0	0	0

※ 新潟市教育委員会による計画

[私立学校]

		R4	R5	R6	R7
		募集学級数	募集学級数の見込み		
	全日制学級数	115	115	115	115
	増減	0	0	0	0
	全日制学校数	16	16	16	16
	増減	0	0	0	0

※ 総務部大学・私学振興課調べ

(2) エリアごとの計画

**(エリア① 新発田市、村上市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、関川村、粟島浦村)**

	R4	R5	R6	R7
中学校卒業生数	2,008	1,950	1,855	1,857
前年差	40	-58	-95	2
	R4	R5	R6	R7
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	37	35	33	33
増減	-1	-2	-2	0
定時制学級数	3	3	3	3
増減	0	0	0	0
全定学級数	40	38	36	36
増減	-1	-2	-2	0
全日制学校数	9	9	9	9
増減	0	0	0	0
定時制学校数	2	2	2	2
増減	0	0	0	0

◆ 再編整備の概要

令和5年度	予定なし
令和6年度	予定なし
令和7年度	予定なし

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学の機会や交通事情など地域の特性を斟酌しながら、新たな高校の5つのタイプをバランスよく配置する。</li> <li>・小規模校の特色化やあり方について検討する。</li> <li>・中等教育学校のあり方について検討する。</li> </ul>
------	--



◆ 募集学級数の見込み

<全日制課程>

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		R4	R5	R6	R7
村上	普通	4	4	3	3
村上桜ヶ丘	総合	4	3	3	3
中条	普通	2	2	2	2
新発田	普通	6	6	6	6
	理数	1	1	1	1
新発田南	普通	4	4	3	3
	機械工学	4	4	4	4
	建築工学				
	土木工学				
	電子情報工学				
新発田農業	生物資源	4	4	4	4
	食品科学				
	環境科学				
新発田商業	商業	3	3	3	3
	情報処理	1	募集停止		
阿賀野	普通	2	2	2	2
計		35	33	31	31

<定時制課程>

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		R4	R5	R6	R7
西新発田	普通(午前部)	2	2	2	2
荒川	普通(午前部)	1	1	1	1
計		3	3	3	3

<中等教育学校>

学校名	課程	募集学級数の見込み			
		R4	R5	R6	R7
村上中等 教育学校	前期課程	(2)	(2)	(2)	(2)
	後期課程	2	2	2	2

**(エリア② 新潟市、三条市、加茂市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町、阿賀町)**

	R4	R5	R6	R7
中学校卒業生数	8,987	8,934	8,885	8,788
前年差	78	-53	-49	-97
	R4	R5	R6	R7
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	146	143	142	141
増減	1	-3	-1	-1
定時制学級数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0
全定学級数	147	144	143	142
増減	1	-3	-1	-1
全日制学校数	29	29	29	29
増減	0	0	0	0
定時制学校数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0

**◆ 再編整備の概要**

令和5年度	予定なし
令和6年度	・新潟工業高校を学科改編する。
令和7年度	予定なし

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学の機会や交通事情など地域の特性を斟酌しながら、新たな高校の5つのタイプをバランスよく配置する。</li> <li>・中等教育学校のあり方について検討する。</li> <li>・小規模校のあり方について検討するとともに、ICTを活用した遠隔授業など、小規模校の教育環境の整備について研究を行う。</li> <li>・学際領域学科や地域社会学科など普通教育を主とする新たな学科の設置について検討する。</li> </ul>
------	---

◆ 募集学級数の見込み

< 全日制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		R4	R5	R6	R7
豊栄	普通	2	2	2	1
新潟	普通	7	7	7	7
	理数	2	2	2	2
新潟中央	普通	5	5	5	5
	普通(学究コース)	2	2	2	2
	食物	1	1	1	1
	音楽	1	1	1	1
新潟南	普通	8	8	8	8
	普通(理数コース)	1	1	1	1
新潟江南	普通	7	7	7	7
新潟西	普通	7	7	7	7
新潟東	普通	7	7	7	7
新潟北	普通	5	4	4	4
新潟工業	機械	2	2	学科改編	
	電気	2	2		
	建築(建築コース)	1	1		
	建築(建築設備コース)	1	1		
	土木	1	1		
	工業化学	1	1		
	工業科*			7	7
新潟商業	総合ビジネス	4	4	4	4
	情報処理	2	2	2	2
	国際教養	2	2	2	2
新潟向陽	普通	5	5	5	5

\* 学科改編後に設置する学科については、募集学級計画公表時に示す。

<全日制課程>

高 校 名	学 科	募集学級数	募集学級数の見込み			
		R4	R5	R6	R7	
巻	普 通	7	7	7	7	
巻総合	総 合	5	4	5	5	
新津	普 通	6	6	6	6	
新津工業	工業マイスター	1	1	1	1	
	生産工学	1	1	1	1	
	ロボット工学	1	1	1	1	
	日本建築	1	1	1	1	
新津南	普 通	4	4	3	3	
白根	普 通	2	2	2	2	
五泉	総 合	5	5	5	5	
村松	普 通	2	2	2	2	
阿賀黎明	普 通	1	1	1	1	
三条	普 通	6	6	6	6	
三条東	普 通	6	6	6	6	
新潟県央工業	機械加工	4	4	4	4	
	電子機械					
	情報電子					
	建設工学					
三条商業	総合ビジネス	4	3	3	3	
吉田	普 通	2	2	2	2	
分水	普 通	2	2	2	2	
加茂	普 通	4	4	4	4	
加茂農林	生産技術	4	4	4	4	
	環境緑地					
	食品技術					
	生物工学					
計		144	141	140	139	

< 定時制課程 >

高 校 名	学 科	募集学級数の見込み			
		R4	R5	R6	R7
新潟翠江	普通(午前部)	1	1	1	1

< 通信制課程 >

高 校 名	学 科	募集学級数の見込み			
		R4	R5	R6	R7
新潟翠江	普 通	若干人	若干人	若干人	若干人

< 中等教育学校 >

学 校 名	課 程	募集学級数の見込み			
		R4	R5	R6	R7
燕中等 教育学校	前期課程	(2)	(2)	(2)	(2)
	後期課程	2	2	2	2

**(エリア③ 長岡市、柏崎市、小千谷市、見附市、出雲崎町、刈羽村)**

	R4	R5	R6	R7
中学校卒業生数	3,786	3,726	3,700	3,583
前年差	214	-60	-26	-117
	R4	R5	R6	R7
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	65	63	63	61
増減	4	-2	0	-2
定時制学級数	5	5	5	5
増減	0	0	0	0
全定学級数	70	68	68	66
増減	4	-2	0	-2
全日制学校数	16	16	16	16
増減	0	0	0	0
定時制学校数	2	2	2	2
増減	0	0	0	0

**◆ 再編整備の概要**

令和5年度	予定なし
令和6年度	予定なし
令和7年度	予定なし

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学の機会や交通事情など地域の特性を斟酌しながら、新たな高校の5つのタイプをバランスよく配置する。</li> <li>・小規模校の特色化やあり方について検討する。</li> <li>・中等教育学校のあり方について検討する。</li> </ul>
------	--

◆ 募集学級数の見込み

< 全日制課程 >

高校名	学科	募集学級数の見込み			
		R4	R5	R6	R7
長岡	普通	6	6	6	6
	理数	2	2	2	2
長岡大手	普通	6	6	6	5
	家政	1	1	1	1
長岡向陵	普通	6	5	5	5
長岡農業	生産技術	4	4	4	4
	食品科学				
	生活環境				
長岡工業	機械工学	5	5	5	5
	電気電子工学				
	物質工学				
	産業デザイン				
長岡商業	総合ビジネス	4	4	4	4
正徳館	普通	1	1	1	1
栃尾	総合	2	2	2	1
見附	普通	3	3	2	3
柏崎	普通	5	5	5	5
柏崎常盤	普通	3	2	3	3
柏崎総合	総合	3	3	3	3
柏崎工業	機械創造	3	3	3	3
	電気技術				
	環境化学				
小千谷	普通	5	5	5	5
小千谷西	総合	4	4	4	3
計		63	61	61	59

< 定時制課程 >

高校名	学科	募集学級数の見込み			
		R4	R5	R6	R7
長岡明德	普通(午前部)	3	3	3	3
	普通(夜間部)	1	1	1	1
出雲崎	普通(午前部)	1	1	1	1
計		5	5	5	5

< 中等教育学校 >

学校名	課程	募集学級数の見込み			
		R4	R5	R6	R7
柏崎翔洋 中等教育学校	前期課程	(2)	(2)	(2)	(2)
	後期課程	2	2	2	2

**(エリア④) 十日町市、魚沼市、南魚沼市、湯沢町、津南町)**

	R4	R5	R6	R7
中学校卒業生数	1,355	1,239	1,286	1,199
前年差	45	-116	47	-87
	R4	R5	R6	R7
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	32	30	29	27
増減	1	-2	-1	-2
定時制学級数	3	3	3	3
増減	0	0	0	0
全定学級数	35	33	32	30
増減	1	-2	-1	-2
全日制学校数	10	9	9	9
増減	0	-1	0	0
定時制学校数	2	2	2	2
増減	0	0	0	0

**◆ 再編整備の概要**

令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際情報高校の海外大学進学コースを廃止し、くくり募集を行う。</li> <li>松代高校に地域探究コース（仮称）を設置する。</li> <li>十日町高校松之山分校を松代高校と統合し、松之山分校の学びを松代高校に引き継ぐ。</li> </ul>
令和6年度	予定なし
令和7年度	予定なし

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学の機会や交通事情など地域の特性を斟酌しながら、新たな高校の5つのタイプをバランスよく配置する。</li> <li>小規模校の特色化やあり方について検討する。</li> <li>中等教育学校のあり方について検討する。</li> </ul>
------	---



◆ 募集学級数の見込み

<全日制課程>

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		R4	R5	R6	R7
小出	普通	4	4	4	3
国際情報	国際文化	2	3	3	3
	情報科学	2			
六日町	普通	5	5	5	4
八海	普通	2	2	2	2
塩沢商工	地域創造工学	2	2	2	2
	商業	1	1	1	1
十日町	普通	6	5	5	5
松之山分校	普通	1	統合		
十日町総合	総合	4	4	3	3
松代	普通	1	2	2	2
計		30	28	27	25

<定時制課程>

高校名	学科		募集学級数の見込み		
		R4	R5	R6	R7
堀之内	普通(午前部)	2	2	2	2
十日町	普通(夜間部)	1	1	1	1
計		3	3	3	3

<中等教育学校>

学校名	課程		募集学級数の見込み		
		R4	R5	R6	R7
津南中等 教育学校	前期課程	(2)	(2)	(2)	(2)
	後期課程	2	2	2	2

**(エリア⑤ 糸魚川市、妙高市、上越市)**

	R4	R5	R6	R7
中学校卒業生数	2,317	2,208	2,222	2,127
前年差	87	-109	14	-95
	R4	R5	R6	R7
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	42	39	39	37
増減	1	-3	0	-2
定時制学級数	2	2	2	2
増減	0	0	0	0
全定学級数	44	41	41	39
増減	1	-3	0	-2
全日制学校数	12	12	11	11
増減	-1	0	-1	0
定時制学校数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0

**◆ 再編整備の概要**

令和5年度	予定なし
令和6年度	・久比岐高校を募集停止とする。
令和7年度	予定なし

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学の機会や交通事情など地域の特性を斟酌しながら、新たな高校の5つのタイプをバランスよく配置する。</li> <li>・小規模校の特色化やあり方について検討する。</li> <li>・中等教育学校のあり方について検討する。</li> </ul>
------	--

◆ 募集学級数の見込み

< 全日制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		R4	R5	R6	R7
高田	普通	5	5	5	5
	理数	1	1	1	1
安塚分校	普通	募集停止			
高田北城	普通	5	4	5	4
	生活文化	1	1	1	1
高田農業	生物資源	4	4	4	4
	食品科学				
	農業土木				
上越総合技術	機械創造工学	5	5	5	5
	電気情報				
	建築環境				
	土木防災				
高田商業	総合ビジネス	4	3	3	3
久比岐	普通	1	1	募集停止	
有恒	普通	1	1	1	1
新井	総合	4	3	4	3
糸魚川	普通	3	3	3	3
糸魚川白嶺	総合	3	3	3	3
海洋	水産資源	2	2	2	2
	海洋開発				
計		39	36	37	35

< 定時制課程 >

高校名	学科	募集学級数の見込み			
		R4	R5	R6	R7
高田南城	普通(午前部)	2	2	2	2

< 通信制課程 >

高校名	学科	募集学級数の見込み			
		R4	R5	R6	R7
高田南城	普通	若干人	若干人	若干人	若干人

< 中等教育学校 >

学校名	課程	募集学級数の見込み			
		R4	R5	R6	R7
直江津 中等教育学校	前期課程	(2)	(2)	(2)	(2)
	後期課程	3	3	2	2

**(エリア⑥ 佐渡市)**

	R4	R5	R6	R7
中学校卒業生数	409	379	400	379
前年差	52	-30	21	-21
	R4	R5	R6	R7
	募集学級数	募集学級数の見込み		
全日制学級数	11	10	11	10
増減	1	-1	1	-1
定時制学級数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0
全定学級数	12	11	12	11
増減	1	-1	1	-1
全日制学校数	4	4	4	4
増減	0	0	0	0
定時制学校数	1	1	1	1
増減	0	0	0	0

**◆ 再編整備の概要**

令和5年度	予定なし
令和6年度	予定なし
令和7年度	予定なし

検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学の機会や交通事情など地域の特性を斟酌しながら、新たな高校の5つのタイプをバランスよく配置する。</li> <li>・中等教育学校のあり方について検討する。</li> <li>・小規模校のあり方について検討するとともに、ICTを活用した遠隔授業など、小規模校の教育環境の整備について研究を行う。</li> </ul>
------	---

◆ 募集学級数の見込み

< 全日制課程 >

高校名	学科	募集学級数	募集学級数の見込み		
		R4	R5	R6	R7
佐渡	普通	5	5	5	5
羽茂	普通	1	1	1	1
佐渡総合	総合	3	3	4	3
計		9	9	10	9

< 定時制課程 >

高校名	学科		募集学級数の見込み		
		R4	R5	R6	R7
佐渡相川分校	普通(午前部)	1	1	1	1

< 中等教育学校 >

学校名	課程		募集学級数の見込み		
		R4	R5	R6	R7
佐渡中等 教育学校	前期課程	(1)	(1)	(1)	(1)
	後期課程	2	1	1	1

問い合わせ先

新潟県教育庁高等学校教育課

企画振興係

電話 025-285-5511 (代) 内線 3887

Eメール [ngt500050@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt500050@pref.niigata.lg.jp)

URL [https://www.pref.niigata.lg.jp/  
sec/kotogakko/](https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kotogakko/)